

1. おみそゆ おおはる わとかさ がばたれ ここきぬ ここ土とつ ろろ地ち よには にかまひ

2. おみそゆ おおはる わとかさ がばたれ ここきぬ ここ土とつ ろろ地ち よには にかまひ

3. おみそゆ おおはる わとかさ がばたれ ここきぬ ここ土とつ ろろ地ち よには にかまひ

4. おみそゆ おおはる わとかさ がばたれ ここきぬ ここ土とつ ろろ地ち よには にかまひ

がたか — きくれの おとしこ もめたこ いずねろ とばをを み実とい たをりし まむが地じ

のすとの おおびご もぬきと いまたく のまりに いわつか ずすいた — れればく をさむな もらごす

つれとら やんしん みこみみ ここここ とろとと ばのば たみきい だこくわ しとと地ち

(く)ばもに(・)こあこ芽めこしこをろきろ出だにねにもにしざのきえさにかずばよずし実りばて

はう実伸のあばをびらいむるわさすころらびとんれえなんずし

しかし、良い地に落ちるとは、こういう人たちのことです。
正しい、良い心でみことばを聞くと、それをしっかりと守り、
よく耐えて、実を結ばせるのです。 ルカ 8:15

5

まこと 誠をつくせる く あらた 悔い改めを
なさざる心は み むす 実を結びえず。
信仰^{また}全くし 神により頼む^{たの}→
心いやされん。

6

おも 思いわずらいと とみ 富は心の
うちにある種^{たね}を いき 息ふさぐほど
おおいて隠せば^{かく} 種は命へと
め^えぶくこと得ず。

7

よ とみ この世の富をば 人が愛さば
心と目はただ 世のものを追^おわん。
そこにて御旨^{みむね}は たえて場^ばを持たず

8

けいけん されど敬虔な とち 心の土地に
神のみことばの お 種が落ちなば
みことば行い^{おこな} 耐え^た忍び実をば^{しの}
ひやくばい 百倍むすぶ。

9

きよえい た いかなる虚栄も 絶えて持たずに
みずからの様^{さま}を ふりかえり見ん。
みことば良き地^よに 落ちずば命^ちを
つ 継ぐことをえず。

10

まこと く 真の悔いもて くだ われを砕きて
主よみ言葉をば 心にたまえ。
千倍^{みの}実りを われに御国^{みくに}にて